



令和6年6月4日

各 位

会 社 名 日 本 基 礎 技 術 株 式 会 社  
代 表 者 名 取 締 役 社 長 中 原 巖  
(コード番号 1914 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 執 行 役 員 事 務 管 理 本 部 長 田 中 邦 彦  
(TEL 03 - 5365 - 2500)

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、令和6年6月4日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状を分析し、企業価値向上に向けた方針と数値目標および具体策について決議しましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

# 資本コストや株価を意識した経営 の実現に向けた対応について

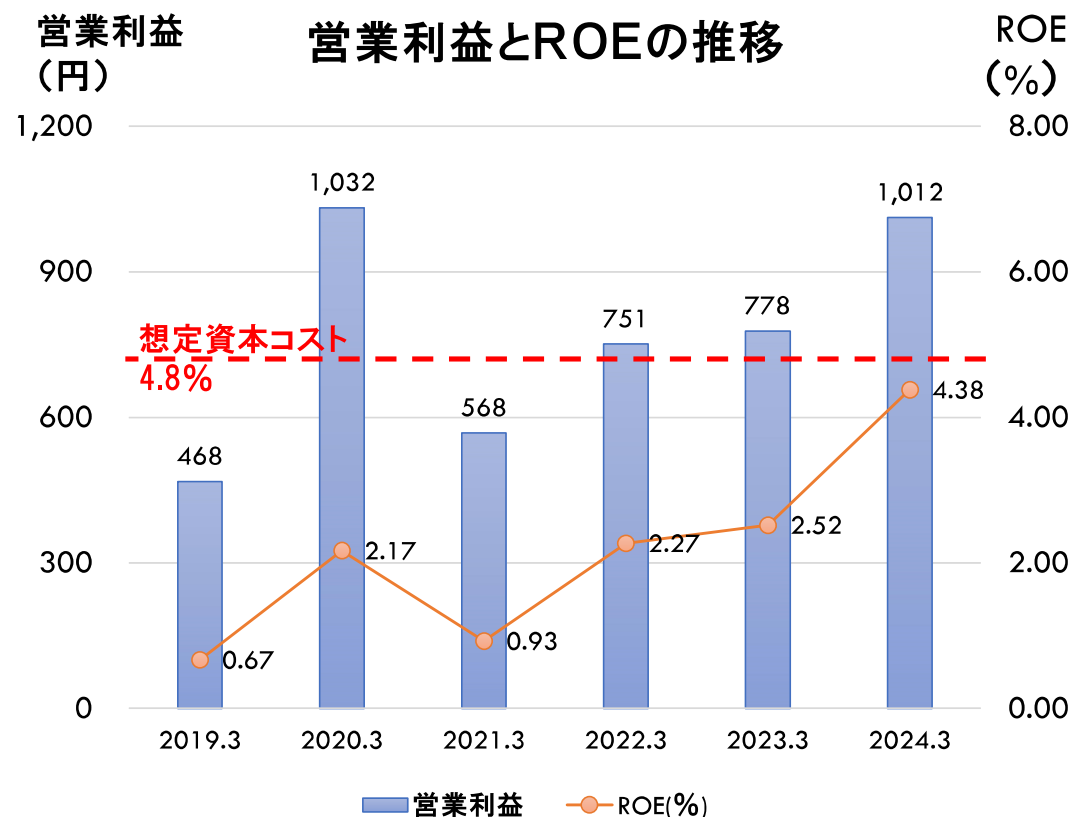
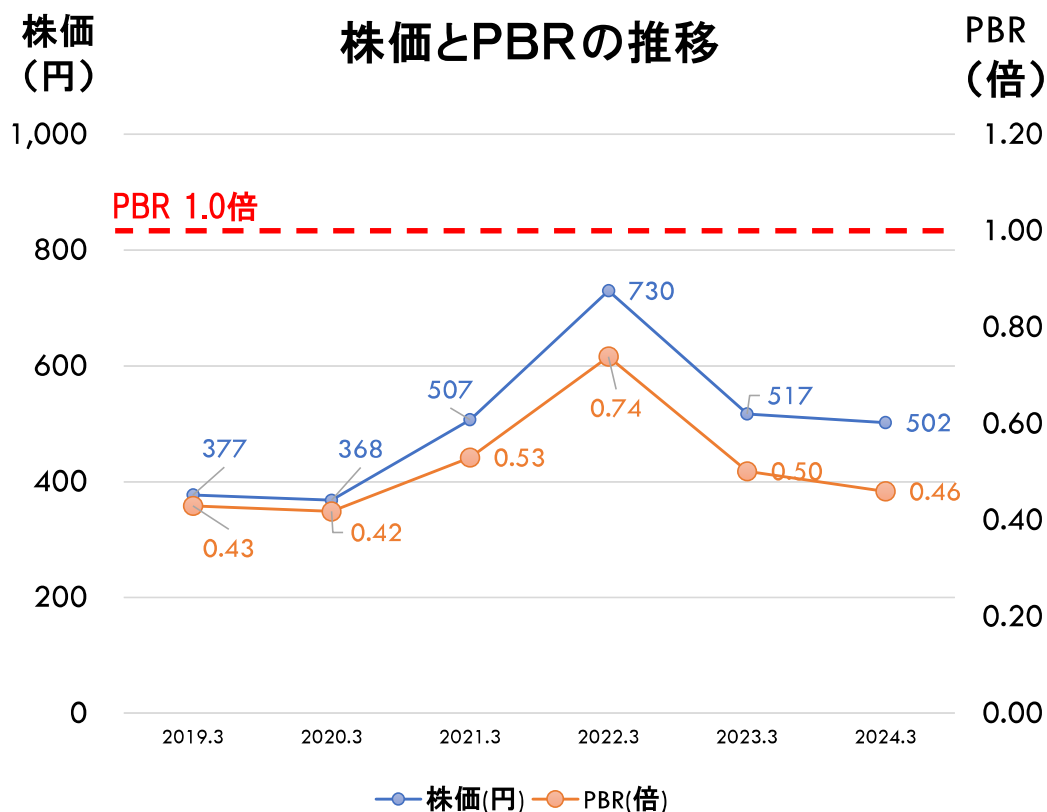


日本基礎技術株式会社  
Japan Foundation Engineering Co., Ltd.

# 1. 現状分析－1（当社直近(2024年3月期)の各指標について)

指標名	単位	当社の 数値	計 算 式
P B R (株価純資産倍率)	倍	0.46	株価 ÷ BPS(一株当たり純資産)
R O E (自己資本利益率)	%	4.38	当期純利益 ÷ 自己資本 × 100
P E R (株価収益率)	倍	10.78	株価 ÷ EPS(一株当たり純利益)
B P S (一株当たり純資産)	円	1,094.9	純資産 ÷ 発行済株式総数
配当性向	%	34.4	1株当たり配当額 ÷ 1株当たり当期純利益
株主資本コスト	%	4.8	当社にて想定 (CAPMによる)

# 1. 現状分析－2（当社の主要指標の推移）



**PBRは1倍を下回っており、ROEについても4.38%と改善傾向にはあるものの当社が想定する株主資本コスト(4.8%)を下回っている状況にある。**

## 2. 企業価値向上の方針と数値目標および具体策

$$\text{PBR} = \frac{\text{株価}}{\text{BPS (一株当たり純資産)}}$$

$$\text{PBR} = \text{ROE (自己資本利益率)} \times \text{PER (株価収益率)}$$

$$= \frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}} \times \frac{\text{株価} \times \text{発行済株式総数}}{\text{当期純利益}} = \frac{\text{株価} \times \text{発行済株式総数}}{\text{自己資本}}$$

### ※ PBR向上の要因

- ① **株価**の向上(収益性の向上、配当金の増額)
- ② **ROE**の向上(当期純利益の向上)
- ③ **自己資本**の低減(自己株式の取得)

## < 数値目標 >

### 【長期】

最終的な目標 : **PBR 1倍**を達成する。

### 【短期】

目 標 : 当社の資本コストである4.8%を上回るROE **6%** を達成する。

達成時期 : 3年後(次期中期経営計画1年目)の**2027年度3月期**

## <具体策－その1>

### (1) 配当政策

配当については、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ財務体質の強化を考慮し、長期安定的な利益配分を行うことを基本方針としております。今後もこの方針を維持しつつ、配当性向については、30%以上を目安として、業績に連動した利益還元に努めます。

### (2) 資産の選択と集中

資産の選択と集中に注力し、将来成長に寄与する積極投下については、今後も継続して進めます。

## <具体策ーその2>

### (3) 自己株式の取得

自己株式取得については、株主還元や、ROEの上昇、政策保有株式の縮減による安定株主比率の低下への対応を目的として、これまでも継続的に実行しております。今後も株式の状況等を判断して、適切に実行したいと考えております。

### (4) 政策保有株式に対する考え方と削減について

- 当社は、政策保有株式について、事業戦略上の必要性及び取引関係の維持・強化などを勘案し、当社の企業価値向上に資すると判断した場合にのみ保有し、その他については解消します。
- 毎年取締役会において、保有目的、保有効果、取得経緯の他、株式価値の変動や配当金による経済性等を含め、総合的に検証しています。



## <具体策ーその3>

### (5) 従業員向けRS(譲渡制限付株式)の導入

既に実施済みの役員向けの譲渡制限付株式報酬制度に加えて、人材育成や社内環境整備を目的として、取得した自己株式を従業員へ付与いたします。これにより、社員に対して、企業価値や株価に対する意識を高める効果を期待します。

### (6) 米国現地法人(JAFEC USA, Inc.)の黒字経営継続

これまで、長く赤字経営が続いていた米国現地法人(JAFEC USA, Inc.)は、2024年3月期に黒字化を達成しました。今後も黒字経営の継続を目指し、安定した業績の維持に努めます。

### (7) IR活動の充実

当社ホームページ等での情報発信を充実させ、株主や投資家の皆様に当社のことをより理解していただく機会を増やします。